



トステム株式会社

ラインアート・アコーディア 本体 取付け説明書

※□内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

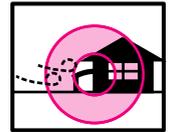
▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■設置条件

- 本製品は、一般地域用です。積雪強度は600N/m² (61.2 kgf/m²) であり、積雪量に換算すると20cm相当です。これを超える積雪の多い地域には取り付けないでください。
- 本製品は木造住宅の1階に取り付けられる設計となっております。2階以上の高所には取り付けないでください。
- 柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- 他社商品 (バルコニー等) と組み合わせて設置しないでください。
- 母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
- 風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
- 崖っぶりなどの高低差のあるところには設置しないでください。



■躯体への固定

- 取付けねじは、柱・間柱・胴差し等の構造材に必ず止めてください。ベースプレートを使う場合、ベースプレートは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取り付けてください。躯体位置が分からない場合、及び躯体が強度保持できない場合は取り付けないでください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、お施主様と打ち合わせをし、必要に応じて補強してから取り付けてください。
- プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
- タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

■部材の固定

- 組立てねじ・ボルトは、必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まないように締め付けてください。

■施工時の足場について

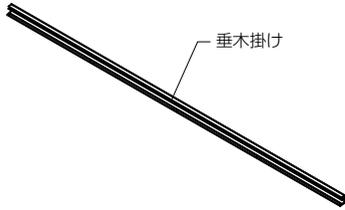
- 施工時は、必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。

■基礎について

- 基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- 海砂を使用の場合は、水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
- 施工前に調査を行い、地下埋設物 (給排水管など) に影響を及ぼさないようにしてください。
- 寒冷地では凍上線より下まで柱を埋め込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
- 柱 (屋根柱は除く) には水抜きできるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴 (φ6) をあけてください。柱間の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- 養生期間は十分 (4日~1週間以上) にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。

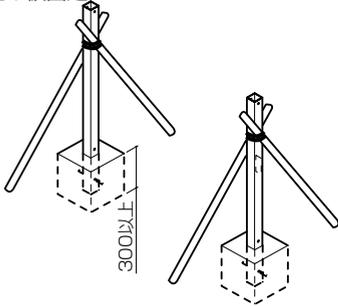
■取付け手順

1 垂木掛けの固定



2 柱の位置決め

- ①柱埋込み位置決定
- ②柱の仮固定

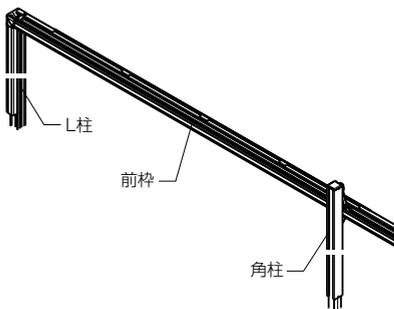


▲注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- シリコンシーリングを行う場合、アクリル板及びポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコーン トスシール380
- ・トーレシリコーン SE960

3 柱-前枠の取付け

- ①L柱と前枠の固定
- ②角柱と前枠の固定



■取付け詳細

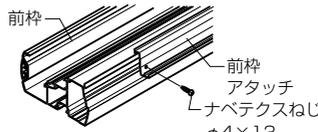
1 垂木掛けの固定

①垂木掛けを躯体に取り付ける際、必ず水準器で水平を出してください。

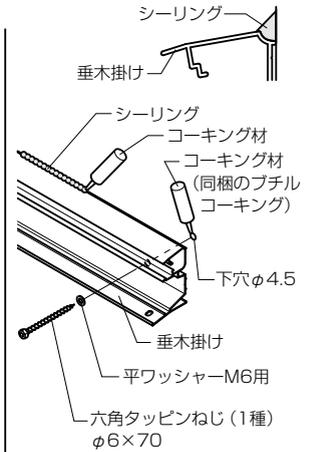
▲注意

- 垂木掛けは、必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取り付けてください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、お施主様と打ち合わせをし、必要に応じて補強してから取り付けてください。
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

※このテラスは、前枠に対して任意に屋根を移動させることができます。移動させる場合は、前枠アタッチを止めているねじを外し、ナベテクスねじで固定しなおしてください。連棟の場合とアコーディアは必ず移動が生じます

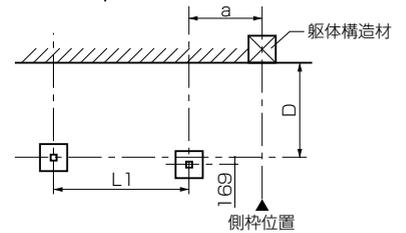


連棟の場合は、P.7の前枠アタッチ移動寸法を確認してください。アコーディアの場合は、前枠アタッチをL柱側に455mm移動します。



2 柱の位置決め

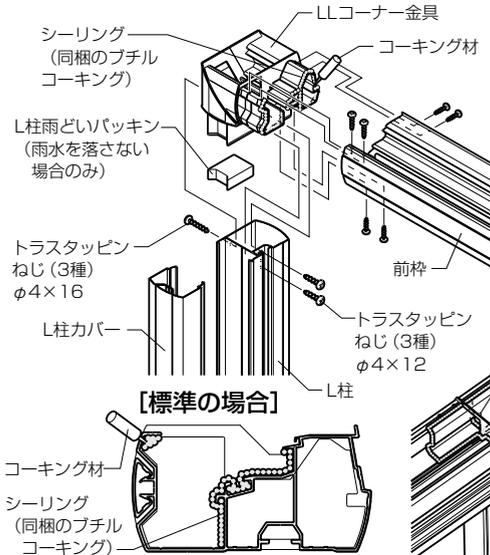
- ①柱埋込位置を出し基礎穴を掘ります。柱の位置は右図とP.7の納まり図を参考に決めてください。
 - ②柱が倒れないように仮固定してください。
- ※角柱は、芯に169mmずれがあります。
※パネル柱を使う場合は、同梱されている取付け説明書を必ず参照してください。



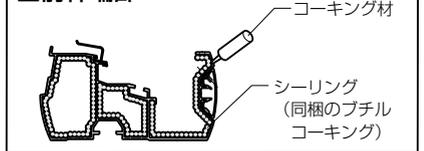
3 柱-前枠の取付け

[L柱-前枠]

- ①LLコーナー金具を前枠に取り付け、L柱と固定します。このとき型材内側と金具両方にシーリングしてください。
- ※雨水をL柱で落とさない場合は、L柱雨どいパッキンを取り付け、シーリングしてください。
- ②L柱カバーをL柱に、はめ込みます。
- ③組付け後に上面部接合部全てにシーリングしてください。このとき、LLコーナー金具の接合部もシーリングします。



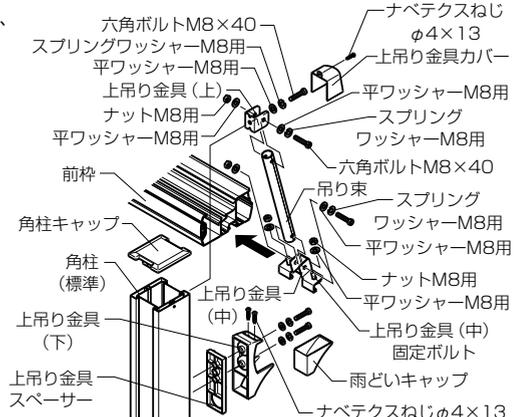
■前枠端部



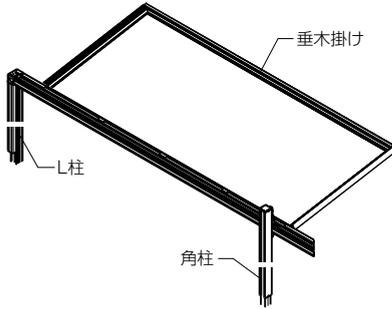
※L柱雨どいパッキンは必ず、LLコーナー金具の下から挿入してください。
※シーリングは、LLコーナー金具の上から、下図の箇所をシーリングしてください。

[角柱-前枠]

- ①吊り束と、仮固定した上吊り固定金具(中)と、上吊り金具固定ボルトを前枠に挿入します。
- ②角柱に、上吊り金具(上)と上吊り金具(下)、上吊り金具スペーサーを固定します。
- ③雨どい付きの場合は、前枠に水抜き穴をあけ、上吊り金具(下)前枠を固定します。
- ④吊り束を上吊り金具(上)と固定。本締めます。
- ⑤角柱キャップを挿入し、上吊り金具カバーと一緒に固定します。
- ⑥雨どいキャップを上吊り金具(下)に挿入します。
- ⑦雨どい付きは、角柱雨どいキャップを挿入し、角柱カバーを挿入します。雨どい落としキャップを取り付け、シーリングします。



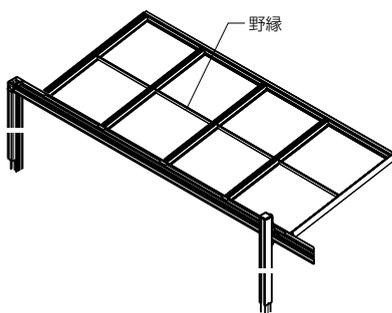
4 端部垂木の取付け



5 中間垂木の取付け



6 野縁の取付け



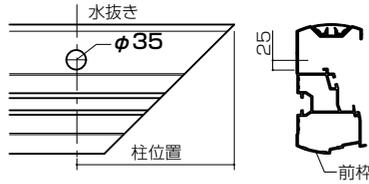
7 屋根パネルの取付け

- ① パネル押えの位置合わせ
- ② 屋根パネルの取付け

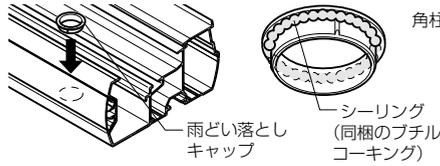


[雨どい付きの場合]

・前桢の加工 (雨どい落としキャップ用)



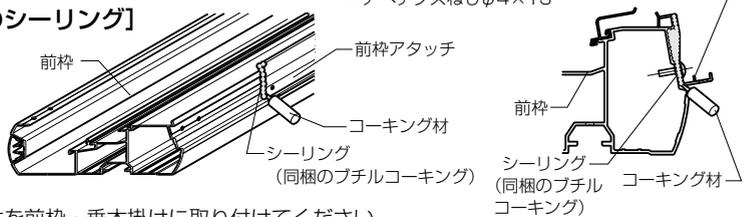
・雨どい落としキャップの取付け (雨どい付きのみ)



4 端部垂木の取付け

[前桢アタッチ端部のシーリング]

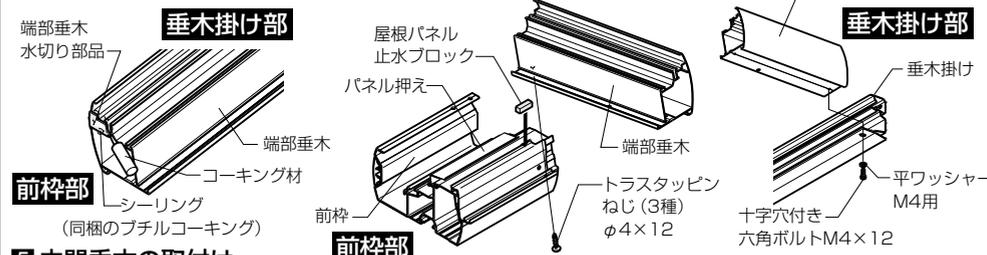
- ① 端部垂木を取り付ける前に前桢アタッチ端部全体に、同梱のプチルコーキングでシーリングします。



- ② 図のように、端部垂木を前桢・垂木掛けに取り付けてください。

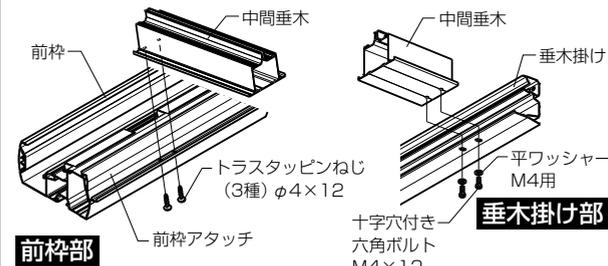
※端部垂木には、前後があります。端部垂木水切り部品を取り付けてください。端部垂木水切り部品の内側には、あらかじめシーリングしてください。

- ③ 前桢アタッチ上面両端部に屋根パネル止水ブロックを張ってください。



5 中間垂木の取付け

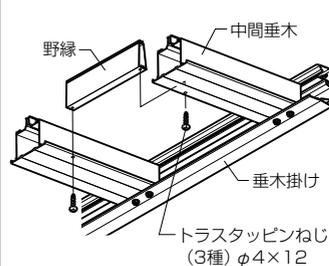
- ① 図のように中間垂木を前桢・垂木掛けに取り付けてください。



6 野縁の取付け

- ① 真中のスパンから順に、図のように野縁を中間垂木又は、端部垂木にねじ止めしてください。

※600タイプ出幅3尺は、野縁の取付けは不要です。

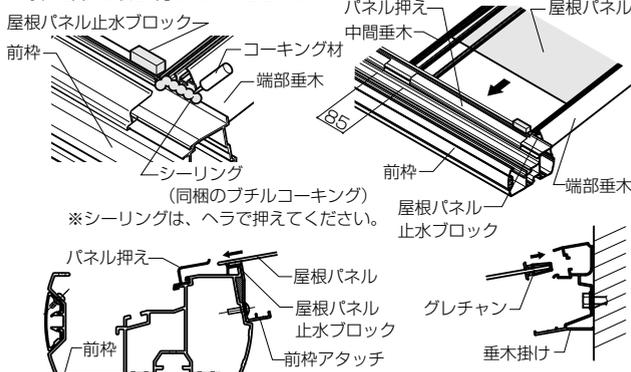


7 屋根パネルの取付け

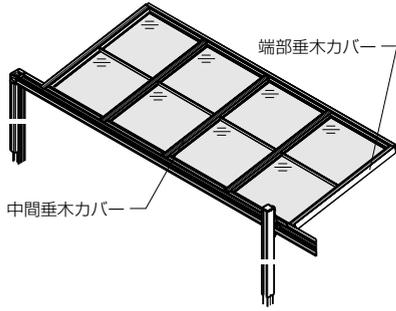
[屋根パネルを取り付ける前に]

- 前桢部と端部垂木の接合部にシーリングしてください。

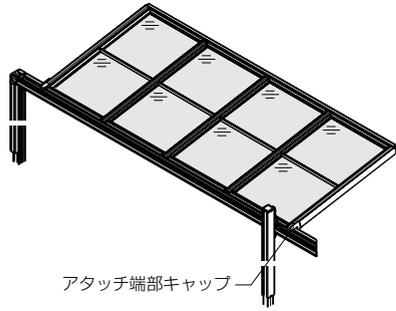
- ① パネル押えを図の位置に合わせます。
- ② グレチャンを取り付け、図のように垂木掛け、前桢パネル押え部に取付けてください。



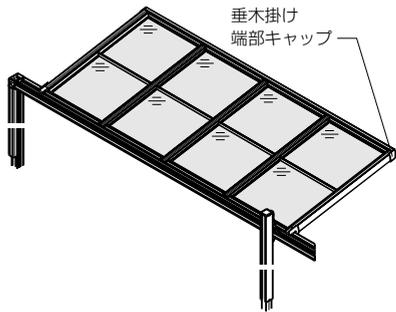
8 垂木カバーの取付け



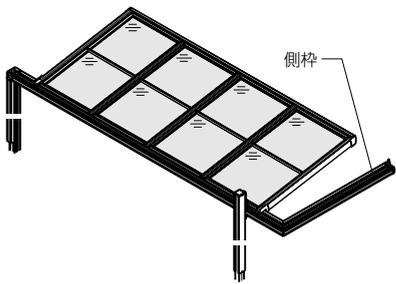
9 アタッチ端部キャップの取付け



10 垂木掛け端部キャップの取付け



側枠の取付け

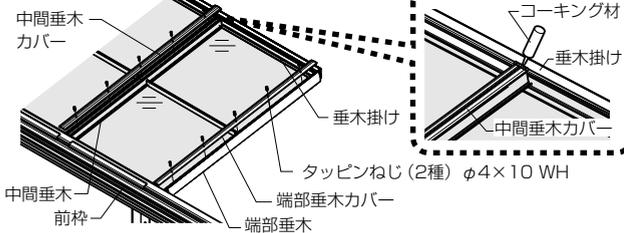


▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- シリコンシーリングを行う場合、アクリル板及びポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
- ・ 信越化学工業 シーラント72
- ・ 東芝シリコン トスシール380
- ・ トーレシリコン SE960

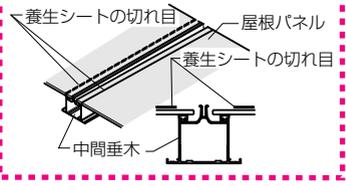
8 垂木カバーの取付け

- ① 垂木カバーを垂木掛け側から押し込み、図のようにねじ止めしてください。
- ② 図のようにシーリングしてください。



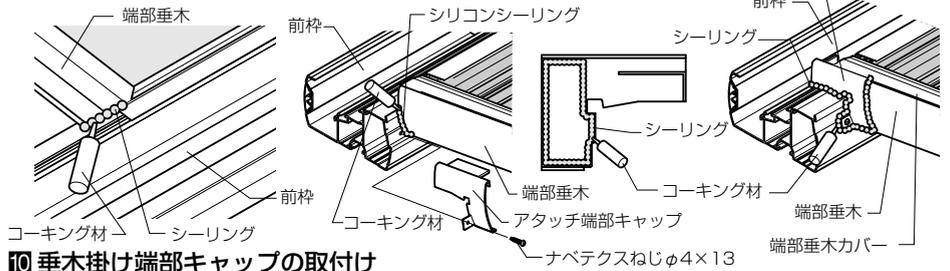
▲ 注意

- 屋根の取付けはパネルのみこみが左右均等になるようにしてください。



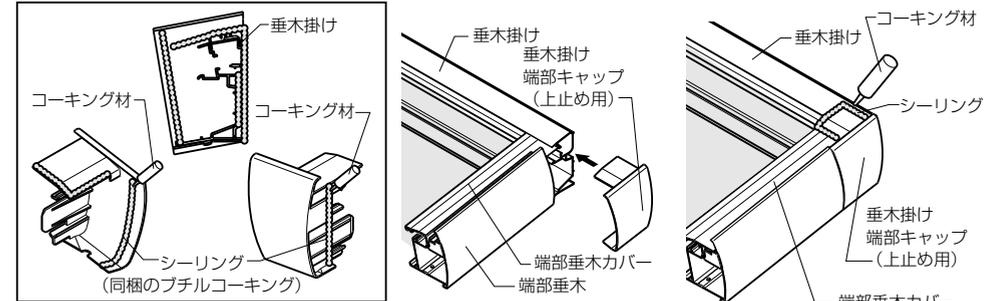
9 アタッチ端部キャップの取付け

- アタッチ端部キャップ取付け用に、キャップからの写し穴でφ3.5の穴をあけてください。
- ① 前枠部と端部垂木の接合部(下面)にシーリングしてください。
- ② キャップと端部垂木にシーリングしてキャップを取り付けてください。
- ③ キャップ周辺にシーリングします。



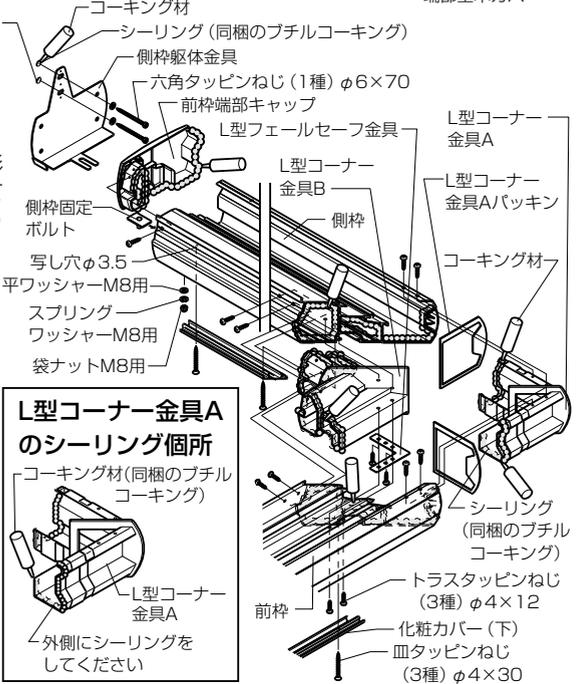
10 垂木掛け端部キャップの取付け

- ① 垂木掛け端部キャップにシーリングした後、キャップを取り付けてください。

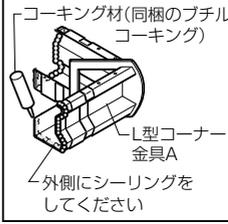


側枠の取付け

- ① L型コーナー金具Aに、L型コーナー金具Aパッキンを挿入します。
 - ② L型コーナー金具A・B、L型フェールセーフ金具を固定します。
 - ③ 前枠及び側枠は、あらかじめ図のように型材とコーナー金具両方にシーリングをしてください。側枠に前枠端部キャップを取り付け、側枠躯体金具を仮止めします。
 - ④ 側枠のL型コーナー金具を前枠に挿入し、水平を出して、側枠躯体金具を躯体に固定します。
 - ⑤ 組付け後にコーナー上面部接合部全てに、シーリングしてください。
 - ⑥ 前枠と側枠に化粧カバー(下)をはめ込み、皿ねじで止めつけます。
- ※側枠の躯体側は化粧カバー(下)の穴からφ3.5の写し穴をあけてください。

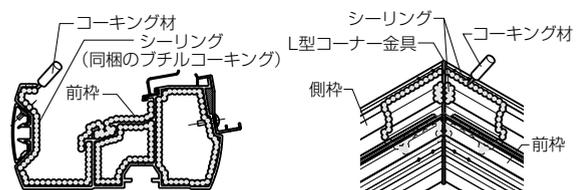


L型コーナー金具Aのシーリング箇所



▲ 注意

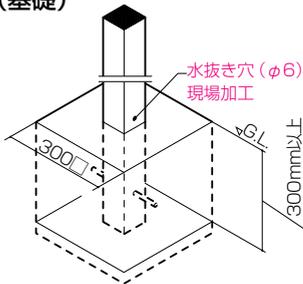
- 側枠躯体金具は、必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取り付けてください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、お施主様と打ち合わせをし、必要に応じて補強してから取り付けてください。
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。



▲ 注意

- ベースプレートは、必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取り付けてください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、お施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取り付けてください。
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

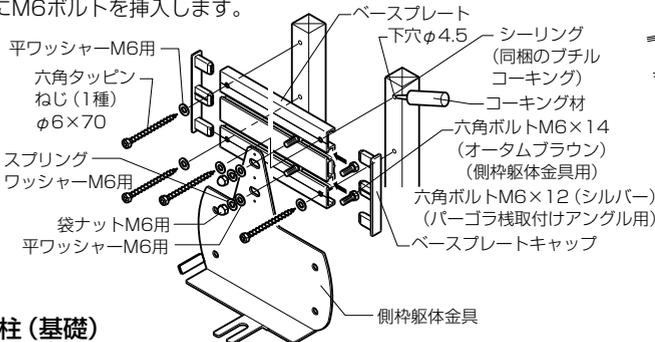
12 柱 (基礎)



■ベースプレートの取付け

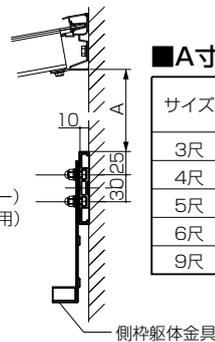
※側枠取付けにベースプレートを使用する場合、ベースプレートの厚さ (10mm) 分、側枠及び化粧カバーを切断及び穴加工してください。

①ベースプレートに側枠躯体金具、パーゴラ棧取付けアングルの数分、上下のボルトホールにM6ボルトを挿入します。



②ベースプレートにベースプレートキャップを取り付け、P.7納まり図と下図を参考に位置を出し、躯体に固定します。

※必ず水準器で水平を出してください。



■A寸法表

サイズ	A寸法
	F
3R	26
4R	79
5R	132
6R	185
9R	344

12 柱 (基礎)

①図の寸法で、柱埋め込み穴をコンクリート (又はモルタル) で埋めてください。

※基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水こう配をつけてください。

②柱と基礎の付け根に水抜き穴 (φ6) をあけてください。

▲ 注意

- 地下埋設物 (給水管など) に影響を及ぼさないようにしてください。
- コンクリート (又はモルタル) に急結材は、絶対に使用しないでください。
- 海砂は、アルミを腐食させるおそれがありますので、水洗いしたものをご使用ください。

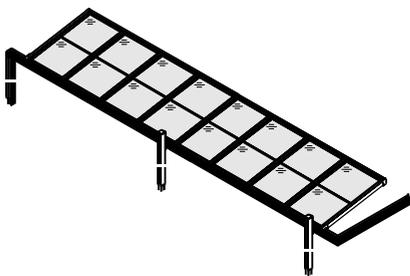
■連棟タイプの場合

※連棟時の間口部材 (前枠・垂木掛け) の切り詰めは不要です。

1 垂木掛けの取付け

2 前枠連棟部の組立て

- ①前枠スリーブの取付け
- ②前枠アタッチの付替え



1 垂木掛けの取付け

①垂木掛けの躯体取付け穴 (φ6.5) を、柱や間柱など躯体構造位置に合わせてあけ直した後取り付けてください。

▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

2 前枠連棟部の組立て

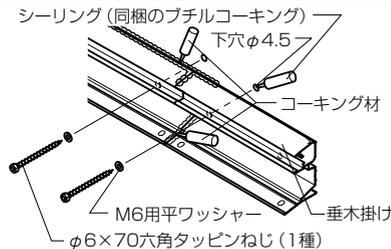
①前枠スリーブA、B、Cに前枠の穴から写し取って、φ3.5の写し穴をあけてください。この時、各スリーブの中心が前枠接合部にくるように穴をあけてください。

②連棟プレートを必要に応じ、図のように加工してください。

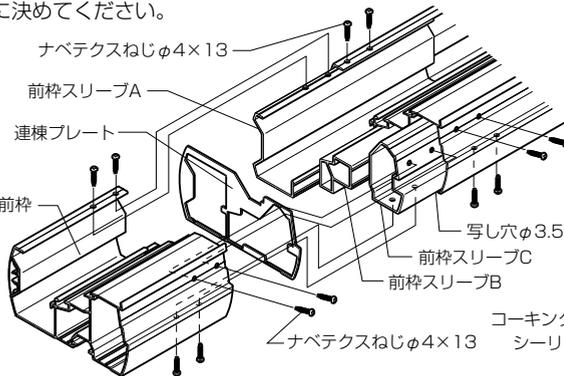
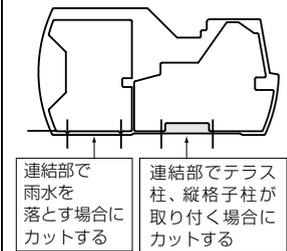
③ジョイント部に図のようにシーリングした後、前枠を連棟プレートに挟んで前枠スリーブA、B、Cにねじ止めします。ねじ止め後も、雨どい内側の接合部にシーリングしてください。

※上りり柱を連結部に取り付ける場合と、アコーディア施工で補強桁が下にくる場合は、連棟プレートを取り付けしないでください。

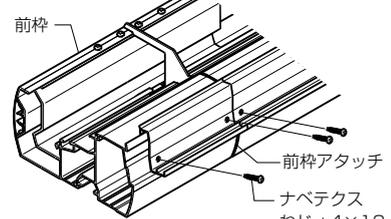
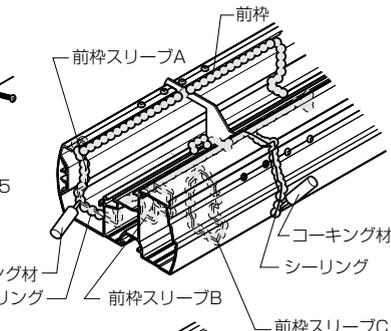
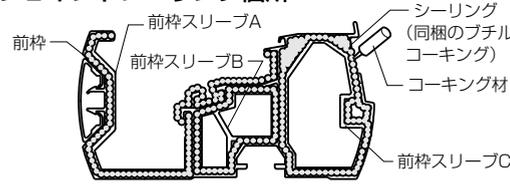
④前枠アタッチを止めているねじを外し、位置を決めてからテクスねじで固定します。前枠アタッチの位置は、P.7の納まりを参考に決めてください。



■連棟プレートの加工



※ジョイントシーリング箇所



▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- シリコンシーリングを行う場合、アクリル板及びポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・トーレシリコン SE960

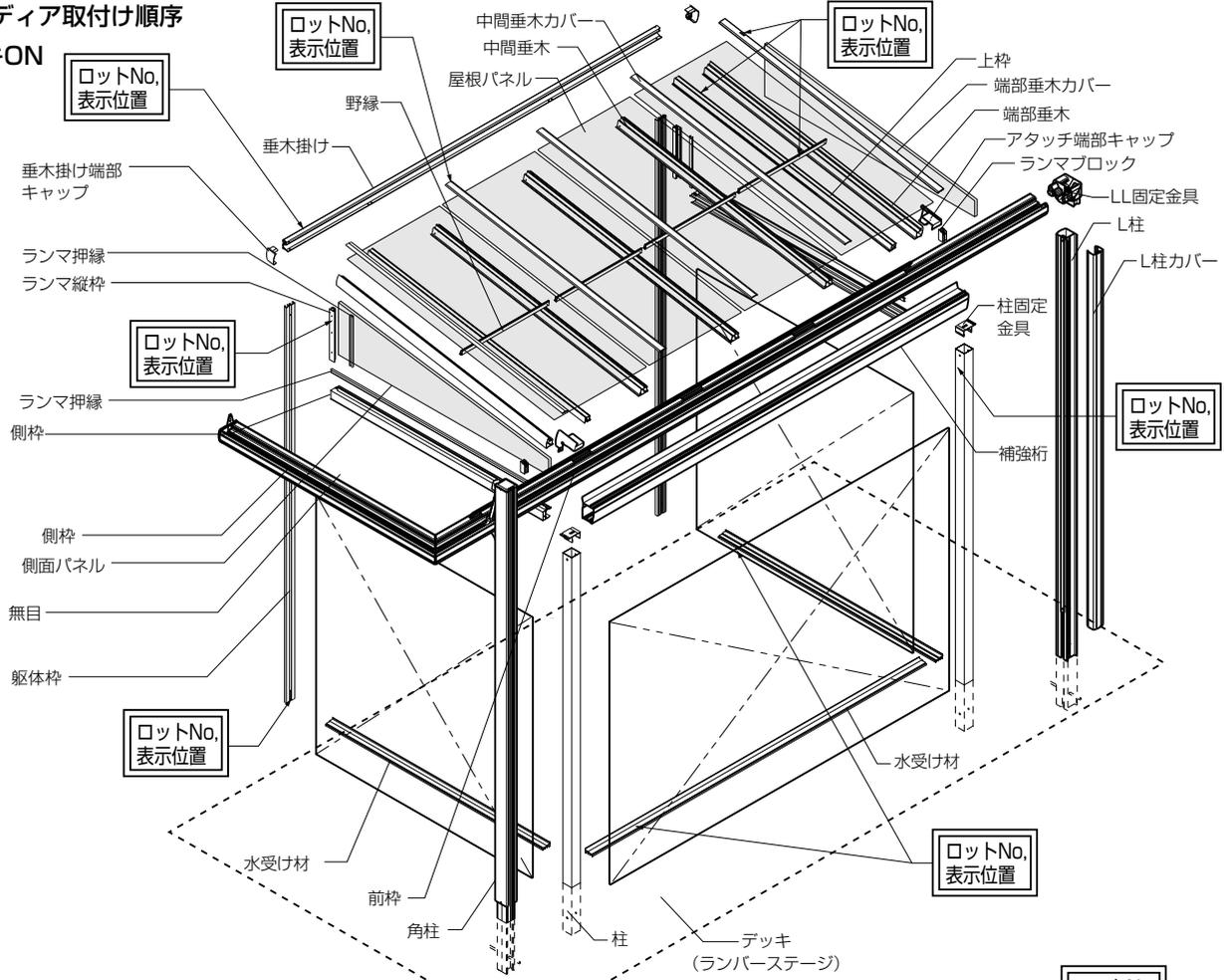
▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

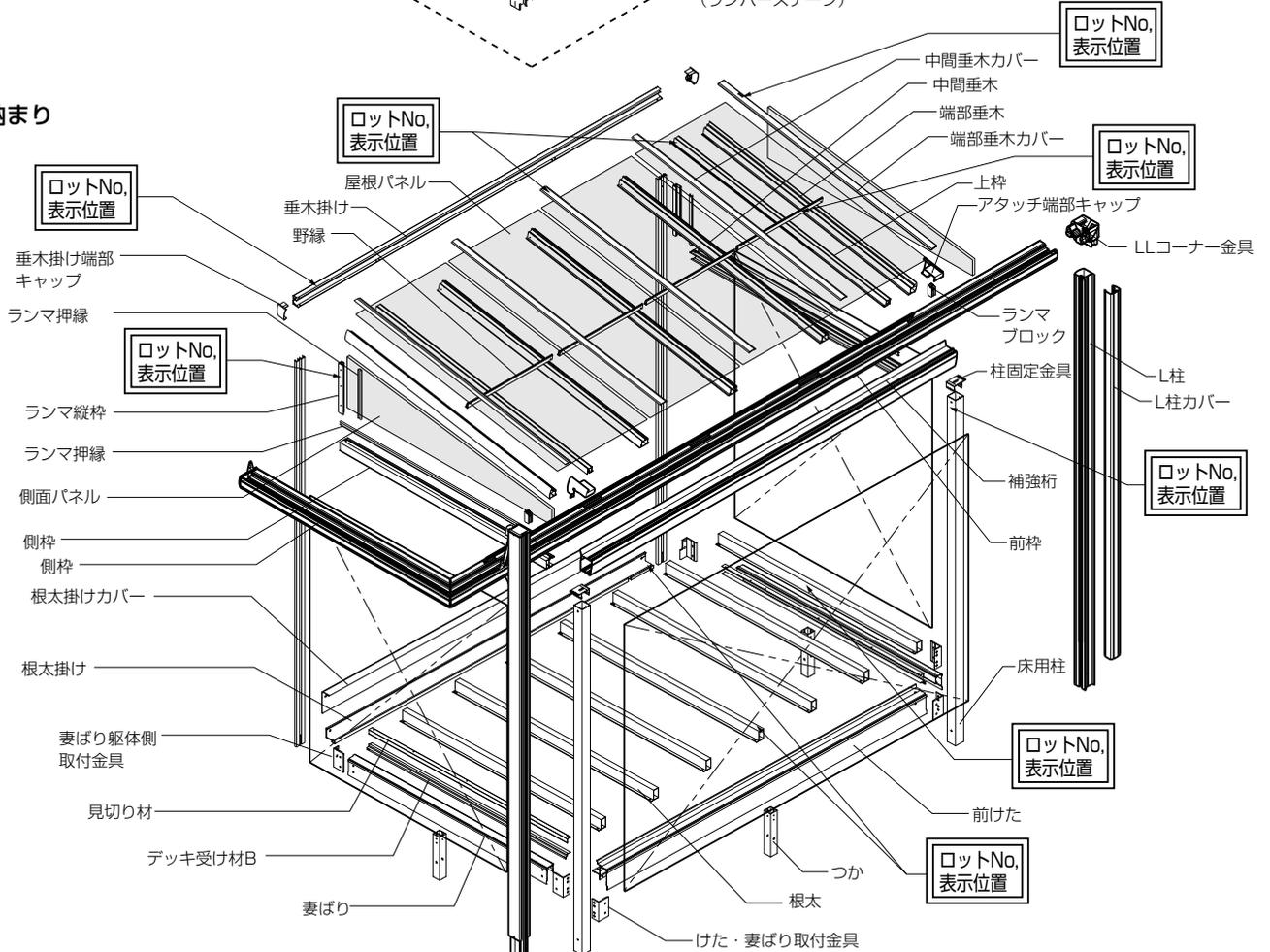
■アコーディア構造説明図

●アコーディア取付け順序

1 デッキON



2 床納まり

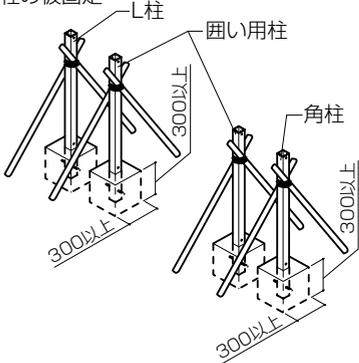


■アコーディア取付け詳細

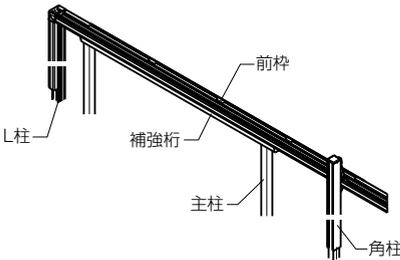
●アコーディアの施工

1 柱の位置決め

- ①柱埋込み位置決定
- ②柱の仮固定

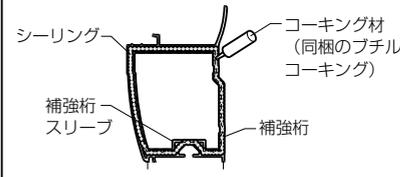


2 前枠一補強桁、主柱の取付け



※L柱・角柱は、P.3を参照してください。

※ジョイントシーリング箇所



■デッキON納まりの場合

※デッキ材の取付け

1 水受け材の取付け

●連棟タイプの場合

▲注意

- 指定の箇所に必ずシーリングしてください。
- シリコンシーリングを行う場合、アクリル板及びポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・トーレシリコン SE960

2 躯体枠の取付け

3 屋根の組立て

4 上枠の取付け

5 野縁の現場加工

●アコーディアを施工する場合は、本取付け説明書以外に、組み合わせる商品によって「ランバーステージ取付け説明書」、「アコーディア用折戸取付け説明書」、「ほせるんですα組立て・施工説明書」などの内容を必ず参照してください。

1 柱の位置決め

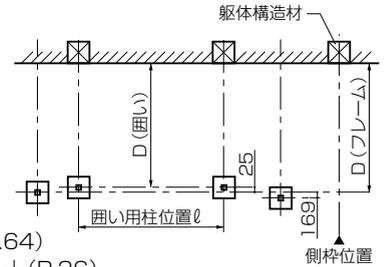
※補強桁と垂木掛けの切断寸法は同じです。

①柱埋込位置を出し基礎穴を掘ります。柱の位置は右図と(P.12)の納まり図を参考に決めてください。

②柱が倒れないように仮固定してください。

※囲い用柱位置 l や D (囲い)は、ほせるんですα組立て・施工説明書(補強桁セット同梱)を参照してください。

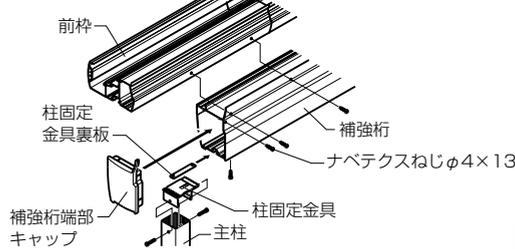
- ・囲い用柱の位置出しは「屋根の組立て2 柱と前枠の取付け」(P.64)
- ・デッキON納まりの場合「土間納まりの組立て1 柱の位置出し〜」(P.26)
- ・床納まりの場合「床納まりの組立て1 柱の位置出し〜」(P.28)



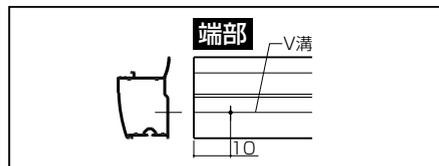
2 前枠一補強桁、主柱の取付け

※補強桁に端部キャップを仮固定してください。

- ①前枠に補強桁を固定します。
- ②柱固定金具を柱固定裏板に引っ掛けたまま前枠の溝に挿入し、ボルトで仮固定してください。端部垂木を取り付けた後、直角を出して固定してください。
- ③柱を差し込み、固定してください。

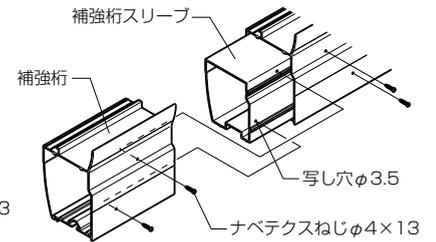


■補強桁端部キャップ取付けねじ位置

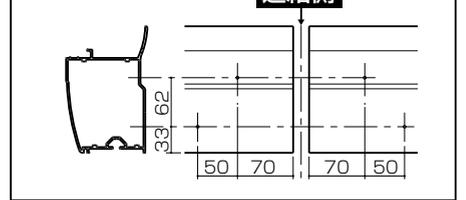


■補強桁の連結

- ①補強桁の連結側を図のように加工します。
- ②補強桁を補強桁スリーブで固定します。スリーブに下穴はありませんので、φ3.5の下穴(写し穴)をあけてください。



■補強桁の加工



●デッキ材の取付けは、「ランバーステージ取付け説明書」を参照してください。

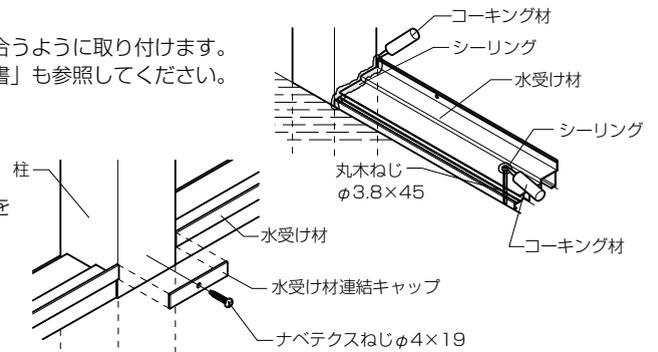
※水受け材の下に、補強として大引がくるように施工してください。

1 水受け材の取付け

- ①柱内々で水受け材の外面と柱が合うように取り付けます。
- ※「アコーディア折戸取付け説明書」も参照してください。

●連棟タイプの場合

- ①連棟部に水受け材連結キャップを取り付けてください。



2 躯体枠の取付け

①躯体枠の取付けは、「ほせるんですα組立て・施工説明書」の「3 躯体の取付け」(P.27)を参照してください。

※アコーディア用の5尺用躯体枠は、切詰めは必要ありません。そのまま取り付けられます。

アコーディアには、下止め、自在桁納まりはありません。

3 屋根の組立て

①屋根の組立ては、本取説P.2~P.6を参照してください。

4 上枠の取付け

①上枠の取付けは、「ほせるんですα組立て・施工説明書」の「5 上枠の取付け」(P.68)を参照してください。

※アコーディアの場合は、前枠アタッチに上枠が取り付けますので、前枠アタッチの端部から表中寸法で加工してください。アコーディアには、下止め、自在桁納まりはありません。

5 野縁の現場加工

①野縁の現場加工は、「ほせるんですα組立て・施工説明書」の「6 野縁の取付け、1 野縁の現場加工」(P.69)を参照してください。

■側面パネルの組立て

1 側枠の取付け

- ① 補強桁の現場加工
- ② 側枠の取付け
- ③ 側枠カバーの取付け
- ④ ガラスライナーの取付け

1 側枠の取付け

① 補強桁の現場加工

①下記に従って、補強桁に側枠固定金具取付け位置をけがいてください。

※下図は、内観左端の補強桁の加工を示します。内観右端の補強桁の加工は、下図と左右対称になります。

【単体の場合】

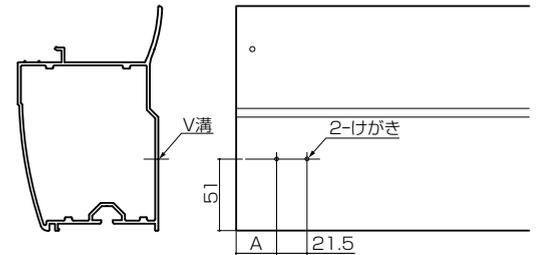
仕様	A寸法
1.0間	215
1.5間	142.5
2.0間	75

【2連棟の場合】

()は9尺時

仕様	A寸法	
2.5間 (1.0+1.5)	430 (280)	285 (435)
3.0間 (1.5+1.5)	285	
3.5間 (1.5+2.0)	285	150
4.0間 (2.0+2.0)	150	

■補強桁の加工



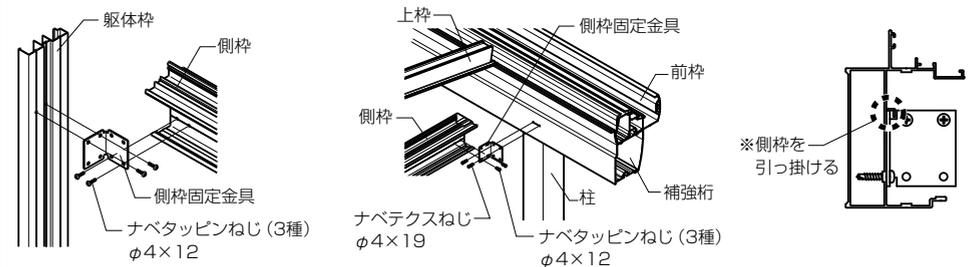
② 側枠の取付け

①補強桁、躯体枠に側枠固定金具を取り付けてください。

※側枠固定金具には、取り付ける向きがあります。

②側枠を側枠固定金具に引っ掛けて取り付けてください。

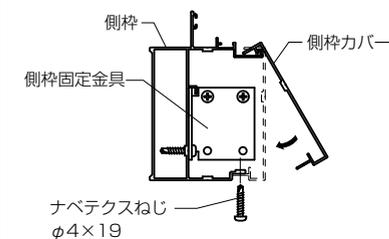
※側枠上面のフィンに切り欠きがある方が、補強桁側になります。



③ 側枠カバーの取付け

①側枠カバーを引っ掛けて取り付けてください。

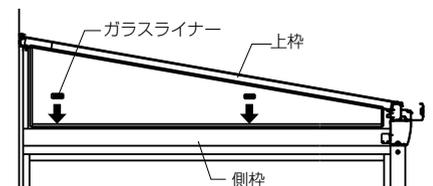
※側枠カバーには、左右はありません。



④ ガラスライナーの取付け

①側枠上面に同梱のガラスライナーを取り付けてください。

※1パネルにつき2個取り付けてください。



2 ランマ縦枠の取付け

3 ランマブロックの取付け

4 ランマ方立の取付け

5 側面パネルの取付け

2 ランマ縦枠の取付け

①ランマ縦枠の取付けは、「ほせるんですα組立て・施工説明書」の「2 ランマ縦枠の取付け ①ランマ縦枠の取付け」(P.76)を参照してください。

3 ランマブロックの取付け

①ランマブロックの取付けは、「ほせるんですα組立て・施工説明書」の「3 ランマブロックの取付け ①ランマブロックの取付け」(P.77)を参照してください。

4 ランマ方立の取付け

①ランマ方立の取付けは、「ほせるんですα組立て・施工説明書」の「4 ランマ方立の取付け ①ランマ方立の取付け」(P.77)を参照してください。

5 側面パネルの取付け

①側面パネルの取付けは、「ほせるんですα組立て・施工説明書」の「5 側面パネルの取付け ①側面パネルの取付け及び、③側面パネルののみ込み寸法」(P.78)を参照してください。

■床納まりの場合

1 床納まりの組立て

1 床納まりの組立て

①床納まりの組立ては、「ほせるんですα組立て・施工説明書」の「■床納まりの組立て」(P.28~36)を参照してください。

※屋根の組立ての章は本取説、(P.2~6)を参照してください。

※アコーディア用の5尺用躯体枠は、切詰めは必要ありません。そのまま取り付けられます。アコーディアには、下止め、自在桁納まりはありません。

②側面パネルの組立ては、本取説、「■側面パネルの組立て」(P.10)を参照してください。

開口部の組立て

1 折戸以外の開口部の取付け

1 折戸以外の開口部の取付け

①折戸以外の開口部を取り付ける場合、開口取付け用に、前枠・側枠アタッチ材を取り付けてください。

2 前枠アタッチ材の取付け

2 前枠アタッチ材の取付け

①前枠アタッチ材を補強桁下に取り付けてください。柱と前枠アタッチ材とのすき間がないようにしてください。

3 側枠アタッチ材の取付け

3 側枠アタッチ材の取付け

①側枠アタッチ材を側枠下に取り付けてください。柱及び躯体枠と側枠アタッチ材とのすき間がないようにしてください。

4 折戸の組立て

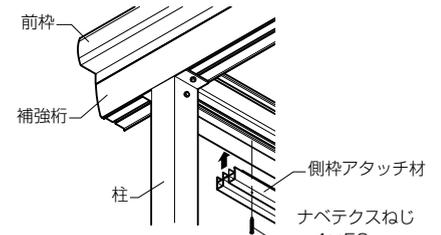
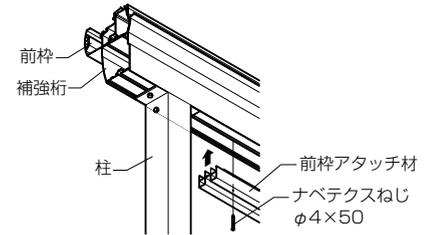
4 折戸の組立て

①折戸の組立ては、「アコーディア用折戸取付け説明書」を参照してください。

5 折戸以外の開口部の組立て

5 折戸以外の開口部の組立て

①折戸以外の開口部の組立ては、「ほせるんですα組立て・施工説明書」の「開口部の組立て」(P.87~102)を参照してください。



アコーディア納まり図

●縦断面図
デッキON

